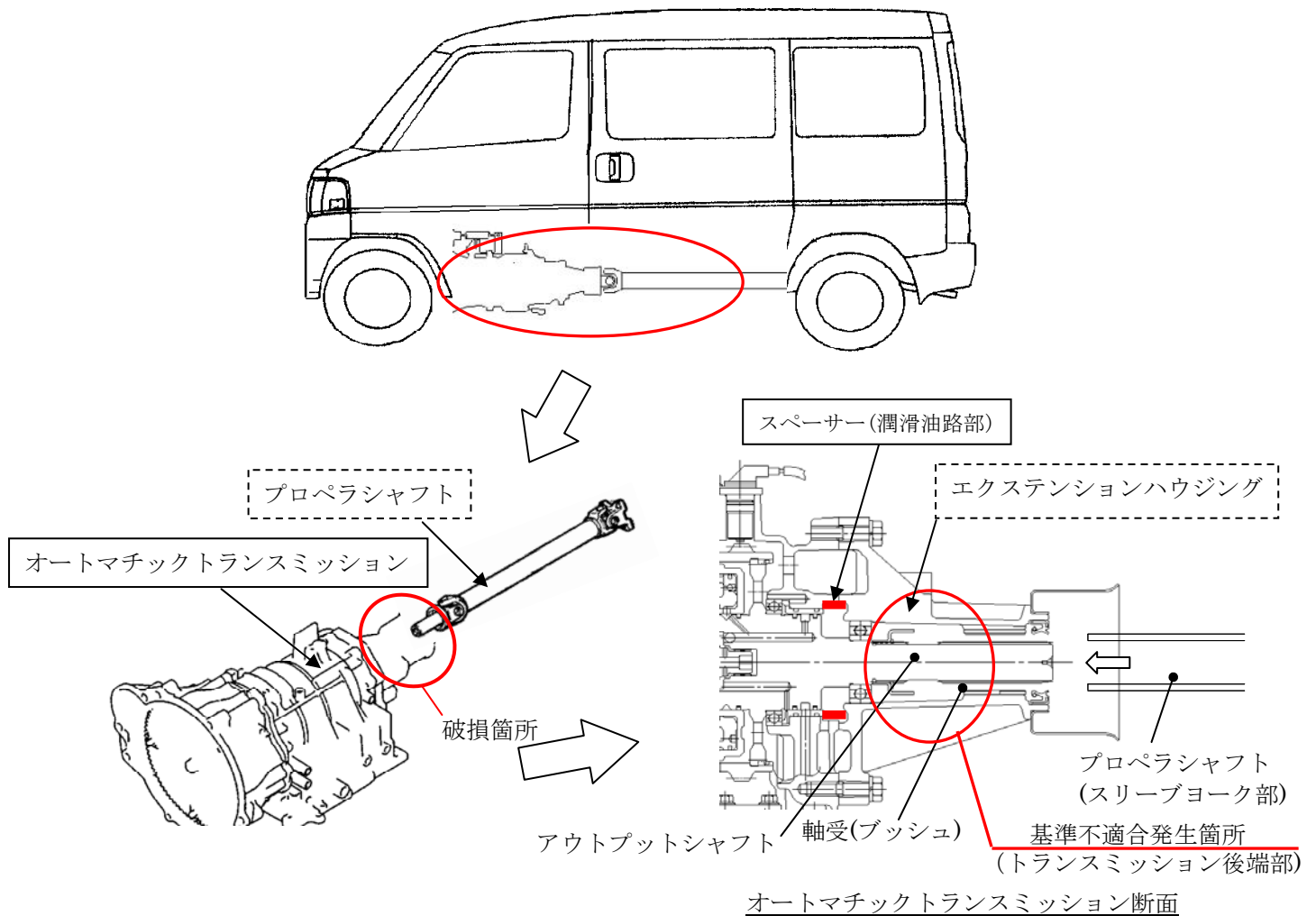


改善箇所説明図



4速オートマチックトランスミッションにおいて、トランスミッションケース内部の潤滑油路が不適切なため、高速走行時(65km/h 超え)に、プロペラシャフトとの潤滑が不足となることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、トランスミッション後端部が破損し、走行不能となるおそれがある。また、一部の車種においては、プロペラシャフトが外れ、燃料タンクを損傷させ、燃料漏れとなるおそれがある。

改善の内容

全車両、エクステンションハウジング及びプロペラシャフトを点検し、

- ①いずれも異常が認められない場合は、オートマチックトランスミッション内に潤滑油路変更用スペーサーを追加する。
- ②エクステンションハウジング及びプロペラシャフトのいずれか、または両方に異常がある場合は、オートマチックトランスミッションのアウトプットシャフトを点検し、異常が認められる場合は、新品のプロペラシャフトおよび潤滑油路を変更した対策品オートマチックトランスミッションに交換する。
- ③エクステンションハウジング及びプロペラシャフトのいずれか、または両方に異常がある場合は、オートマチックトランスミッションのアウトプットシャフトを点検し、異常がない場合は、オートマチックトランスミッション内に潤滑油路変更用スペーサーを追加し、新品のプロペラシャフトおよび新品のエクステンションハウジングに交換する。

なお、改善措置用部品の供給に時間を要することから、当面の暫定措置として、全ての使用者に対し、高速走行(65km/h 超え)での使用停止を要請する。

注：図中の 内は追加または必要に応じて交換する部品を示す。

図中の 内は点検し、必要に応じ交換する部品を示す。

識別：トランスミッションケース後方左下部に白または黄色のペイントを塗布する。